

## 【ゼロカーボンの実現へ】

# 豊橋市保健所・保健センターの屋上に設置した 自家消費型太陽光発電からの電力供給を開始します！

本市は2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティとよはし」を目指しています。この取組みの一環として、「豊橋市保健所・保健センター」にPPA事業（※1）により太陽光発電設備及び蓄電池を設置し、10月28日から電力供給を開始します。なお、本事業は公募型プロポーザルによりサーラエナジー株式会社東三河支社を実施事業者を選定し、国庫補助事業（※2）を活用し実施しました。

### 1 事業の目的

- （1）使用電力の再生可能エネルギーへの転換、及びエネルギーの地産地消による温室効果ガスの排出抑制
- （2）施設のレジリエンス（停電時に施設へ電力を供給する災害対応力）の向上

### 2 導入の効果

- （1）太陽光発電設備設置容量：162kW
- （2）二酸化炭素排出量の削減効果：74t-CO2/年
- （3）停電時には非常用電源として蓄電池（容量16.4kWh）の活用が可能（特定負荷への電力供給）

### 3 事業概要

#### <サーラエナジー株式会社東三河支社>

- ① 太陽光発電設備及び蓄電池の設置
- ② EMS（※3）による運用、保守および維持管理などを一貫して実施（供給開始から20年間）
- ③ 契約期間の満了後は設備を本市に無償譲渡

#### <豊橋市>

- ① 契約期間において施設の使用を許可するとともに、発電された電力を施設で使用し、電気使用料を支払う

### 4 施設及び設備の写真



（豊橋市保健所・保健センター）

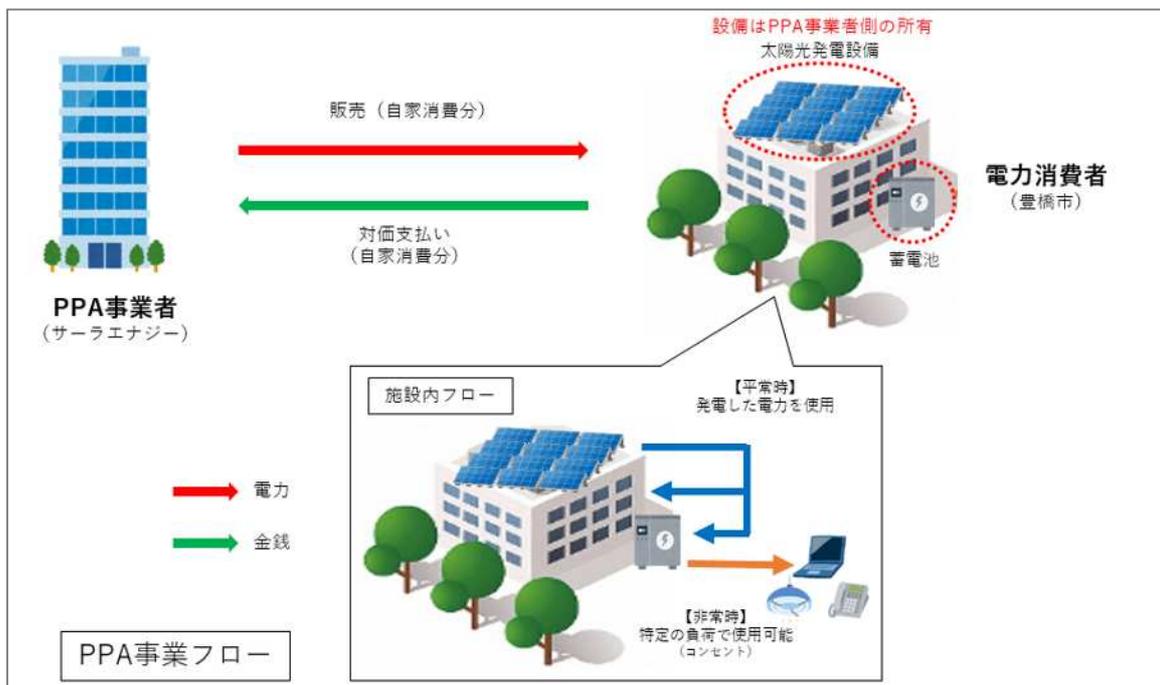


（屋上に設置した太陽光発電設備）

## 5 用語の説明

※1：PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）

設備設置事業者（PPA 事業者）が施設の屋根や隣接地に太陽光発電設備を設置し、施設側は発電した電気を購入する契約のこと。施設側は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することができる。



※2：国庫補助事業

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）

※3：EMS（エネルギーマネジメントシステム）

エネルギーの使用状況を可視化し、エネルギーコストとCO2排出量の削減を両立させる技術。

公共施設のゼロカーボンを進めていくに～！



かん田きょう子さん

問合せ 環境部 ゼロカーボンシティ推進課 主幹 大塚（電話 51-2409）

